

第2回 美浜町小中一貫校「学校づくりワークショップ」 記録

2023年11月27日 月曜日 19時～21時

1 開会行事（学校教育課長）

2 町長あいさつ（町長）

- ・多くの方に集まっていたいただき感謝申し上げます。
- ・昨日、学校再編住民説明会を行った。参加者は約140人。うち職員が30人ほどで住民の方は110人ほどだった。
- ・住民説明会の冒頭のあいさつにおいて、大きく分けて2つのこととお話しした。1つ目は2回目の説明会の開催が遅くなったことのお詫びを申し上げた。2つ目は建設場所の候補地についてはアンケートを取って考えていくと言っていたが、比較検討した結果、実現可能な場所は、日本福祉大学内の一か所となったこと、そして、選んでいただくことができなくなったことについてお詫び申し上げた。
- ・東西1校ずつ小学校を残してほしいとの意見もあったが、6月に行った1回目の住民説明会で申し上げた通り、小中一貫校を進めていくということをお話しした。
- ・費用の面は行政としてしっかり頑張るので、教育内容についてこのワークショップ参加者のみなさんのお力をお借りしたい。
- ・本日のテーマは「地域と学校との連携」と聞いている。大切なことだと思っているので、よろしくお願ひしたい。

3 ワークショップの説明（名古屋市立大学 教授 鈴木賢一 氏）

- ・今回の学校づくりワークショップの開催趣旨について再確認。
- ・前回のワークショップの内容のふり返り。
- ・どういう校舎にしたいかは次のステップ。まずはどういう学校にしたいかを話し合っていきたい。このことが行政や教育委員会だけではできない。住民・保護者・地域の思いが必要。

・本日の流れ

- ① 自己紹介
- ② グループワーク1 地域と学校の相互連携
- ③ グループワーク2 地域コーディネーターと活動拠点
- ④ 話し合ったことの共有(1グループ3分)

4 ワークショップ

① 地域と学校の相互連携

a もし学校の教員だったなら、地域の皆さんに協力を依頼したいことは

b 町民として学校を支援できることは

② 地域コーディネーターと活動拠点

a 学校内に町民が自由に利用できる活動拠点を設けるとしたらどんな場所であってほしいか

b 学校と町民をつなぐコーディネーターを配置できるとしたら、どんな役割を担ってほしいか

5 発表 1グループ3分以内で

・ Cグループ

① a

・ 目の届かないところを手伝ってほしい

・ 家庭科の裁縫など、先生の不得意なところ

b

・ 日福との連携をアピールするなど、学校を盛り上げる

② a

・ 学校に行くための理由が必要になると行きにくく感じるが、防犯面も心配である

・ 地域の行事の拠点

b

・ 相談にのったり、話し相手になったりしてくれる人

・ Aグループ

① a

・ 地域の話をしてくれる人

・ 見守りをしてくれる人

b

・ 草刈りや清掃

② a

・ 大人と子どもが関われる場所

・ 大人の仕事の様子を子どもが見られるような場所

・ 大人と子どもで趣味を共有できるような場所

b

・ 小さな日常の悩みを相談し、アドバイスしてくれる人

・ 学校の広報をしてくれる人

・ Dグループ

① a

- ・ 吹奏楽や英語など、授業のサポート
- ・ 地域の産業やお祭りについての話
- ・ 地域の見守り

b

- ・ 運動会への参加

② a

- ・ 若者と高齢者が交流できる場所
- ・ 放課後の子どもたちが宿題をしたり、習い事ができたりできる場所
- ・ 子ども食堂があってもいい
- ・ 地域の産業の発信拠点

b

- ・ 学校に必要な人を発掘してほしい

・ Bグループ

① a

- ・ 子どもの安全・防犯・見守りをしてほしい
- ・ ICTや命の教育、ミシンなど専門家による外部指導をしてほしい
- ・ 郷土料理を教えてくれるなど地域学習の講師

b

- ・ 行事への参加、読み聞かせ、草取り

② a

- ・ 各世代の憩いの場
- ・ 不登校児童生徒にとっての居場所
- ・ 資格取得できる場所
- ・ 役場の分室
- ・ 利用者の登録も必要だと思う。

b

- ・ 地域の人しか知らないような人を紹介してくれる人
- ・ AIなどデジタルを推進するとよい

・ Fグループ

① a

- ・ 環境整備や学習支援をしてほしい
- ・ 職業体験をさせてもらいたい

- ・歴史や祭りや産業について教えてもらいたい

b

- ・読み聞かせ

② a

- ・気軽に話せる場、親が交流できる場、子どもが安全に遊べる場であってほしい
- ・子育て支援してくれる場

b

- ・地域と学校の要望をつなげられる人
- ・学校と親とのトラブル解決の仲介をしてくれる人

- ・Eグループ

① a・b

- ・学校が本当に求めていることを見極める必要がある
- ・見守り、運動、体験、文化、歴史、防災
- ・まずは人が足りないことが問題

② a

- ・Wi-Fi環境のあるところ
- ・カフェなようなところ
- ・給食が食べられる
- ・行政の分室的な役割をもつ
- ・コミュニケーションがとりやすく、安心して過ごせる場であってほしい
- ・安全に対する対策は必要不可欠

b

- ・広い視野のある人
- ・カウンセラーのように話をしっかり聞ける人
- ・町民主導という意識のある人

6 まとめ（名古屋市立大学 教授 鈴木賢一 氏）

- ・先生は異動があるため変わってってしまう
- ・地域の人がいつまでも見守ることができるという「地域の力」が必要
- ・地域に支えられる学校ではなく、学校を支える地域を考えているところもある
- ・学校は地域の誰に話したらよいか分からない。地域も学校の誰に話したらよいか分からない。それをつないでくれる「人」が必要
- ・安心・安全の視点からセキュリティは大きな課題となる

7 開会行事（学校教育課長）